



透明帯電防止コーティング剤

デナトロン F-121CD

特長

- 導電性ポリマー (PEDOT:PSS) を使用
- 劣化低減タイプ
- 高透明、低ヘイズな塗膜が得られる
- 水、アルコール等の水溶性溶剤で希釈可能

用途例

- 光学フィルムの帯電防止
- 電子部品包装用フィルムの帯電防止
- 産業資材の帯電防止

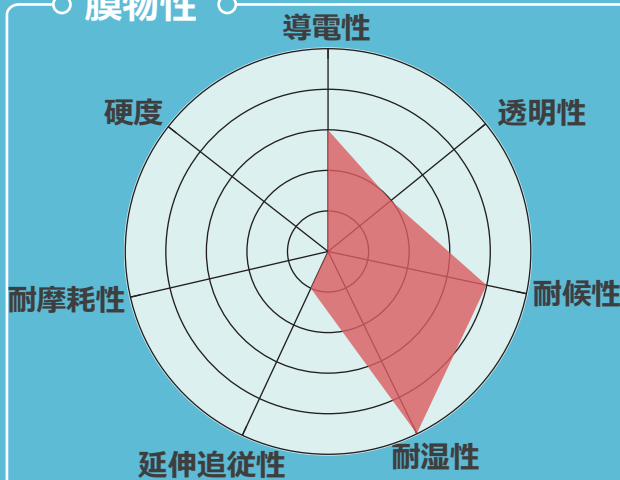
液物性

項目	F-121CD
外観	濃青色
主な成分	導電材
主な溶剤	水
pH	2~3
粘度	50~500 mPa・s
固形分	1.7 wt%
貯蔵安定性 (1~25℃)	6か月以上

塗料化のススメ

項目	推奨の添加剤	注意事項
希釈剤	水、メタノール、エタノール、IPA	添加量によっては、 その他水溶性溶剤も OK
バインダー樹脂	アクリル、ウレタン、 オレフィン、エステル系のエマルジョン、 水溶性エポキシ、シリケート	添加量が多すぎる場合、 塗膜が高抵抗になる
レベリング剤	シロキサン、フッ素化合物、 ポリエーテル	ハジキを生じる場合に添加
pH	2~10	急激な変化は避ける

膜物性

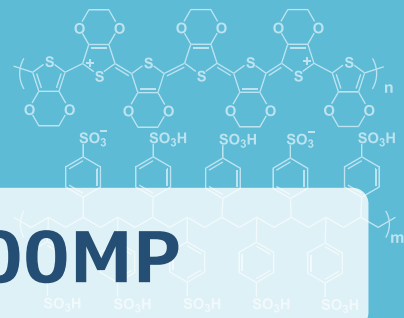


	配合比率 (wt%)			塗布量 (cc/m ²)	表面抵抗率 (Ω/sq.)	全光線透過率 (%)
	F-121CD	バインダー溶液	希釈剤			
塗工例 1	50	3	47	8	2×10 ³	97
塗工例 2	8	6	86	4	2×10 ⁵	>99
塗工例 3	4	3	93	4	2×10 ⁸	>99

バインダー溶液 : アクリル樹脂エマルジョン (固形分 20wt%)
希釈剤 : 50% 含水 IPA

耐候性試験条件 : UV 照射 1000hr
耐湿熱性試験条件 : 85℃ 85%RH 1000hr
耐摩耗性試験 : 布での乾拭き、水拭き、溶剤拭き

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報を基にした参考値・代表値となっております。品質を保証するものではありませんので、予めご理解をお願いいたします。また、製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。ご使用の際には SDS (安全データシート) をご参照の上、ご安全にご使用ください。



透明帯電防止コーティング剤

デナトロン P-400MP

○ 特長 ○

- 導電性ポリマー (PEDOT:PSS) を使用
- 耐摩耗性・耐溶剤性に優れる
- 導電性ポリマーの劣化抑制処方を採用
- 各種基材への密着性が良好

○ 用途例 ○

- 光学フィルムの帯電防止
- 電子部品包装用フィルムの帯電防止
- 産業資材の帯電防止

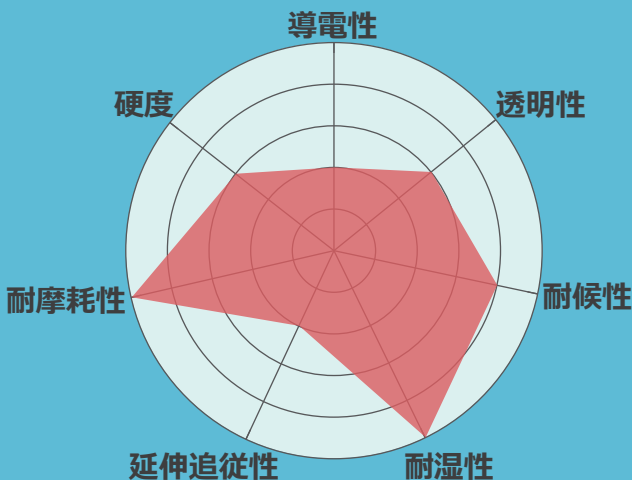
○ 液物性 ○

	P-400MP-A	P-400MP-B
外観	濃青色	乳白色
主な成分	導電材	架橋剤 導電性向上剤
主な溶剤	水・アルコール	水
pH	6~8	6~8
粘度	10~30mPa・s	5~25mPa・s
貯蔵安定性 (1~25℃)	6か月以上	6か月以上

混合
>>

P-400MP
混合比率 (wt%) A液 : B液 = 4 : 1
pH = 6~8
固形分 7wt%
フロアライフ 1週間程度 ※30%エタノール、5倍希釈時

○ 膜物性 ○



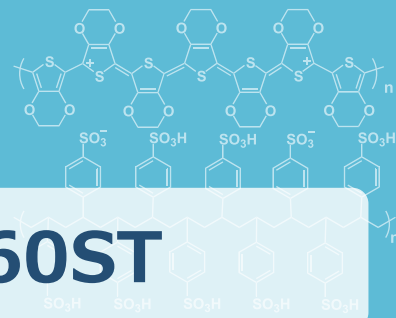
	配合比率 (wt%)			塗布量 (cc/m ²)	表面抵抗率 (Ω/sq.)	全光線透過率 (%)
	A	B	希釈剤			
塗工例 1	16	4	80	5	2×10 ⁷	>99
塗工例 2	4	1	95	5	3×10 ⁸	>99
塗工例 3	4	1	95	4	1×10 ⁹	>99

耐候性試験条件 : UV 照射 1000hr
 耐湿熱性試験条件 : 85℃ 85%RH 1000hr
 耐摩耗性試験 : 布での乾拭き、水拭き、溶剤拭き

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報を基にした参考値・代表値となっております。品質を保証するものではありませんので、予めご了解をお願いいたします。また、製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。ご使用の際には SDS(安全データシート)をご参照の上、ご安全にご使用ください。

More Information

ナガセケムテックス株式会社
 機能化学品事業部
 Mail : ncxmail_fcd@ncx.nagase.co.jp



透明帯電防止コーティング剤

デナトロン P-560ST

○ 特長 ○

- 導電性ポリマー (PEDOT:PSS) を使用
- 延伸性に優れる
- 完全水系のため、インラインコーティングに好適
- 各種基材への密着性が良好

○ 用途例 ○

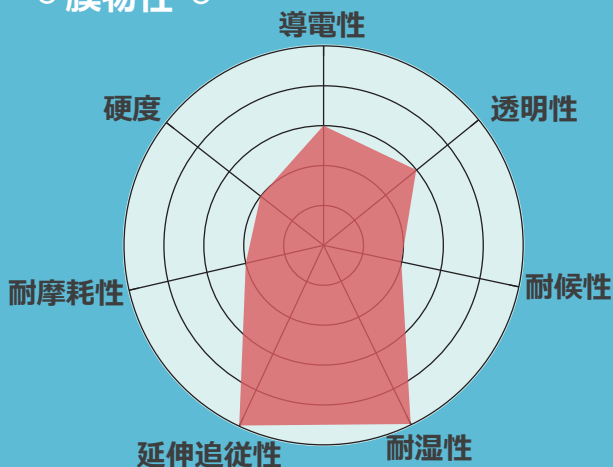
- 光学フィルムの帯電防止
- 電子部品包装用フィルムの帯電防止
- 電子部品搬送用トレイの帯電防止
- 産業資材の帯電防止

○ 液物性 ○

	P-560ST
外観	濃青色
主な成分	導電材・延伸助剤
主な溶剤	水
pH	6~9
粘度	10~30mPa・s
貯蔵安定性 (5℃)	12 か月
貯蔵安定性 (25℃)	4 か月



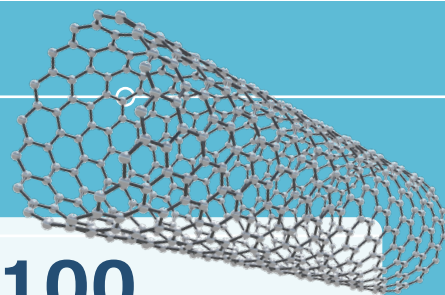
○ 膜物性 ○



	配合比率 (wt%)		塗布量 (cc/m ²)	表面抵抗率 (Ω/sq.)	全光線透過率 (%)
	P-560ST	希釈剤			
塗工例 1	100	0	4	3×10 ³	99
塗工例 2	25	75	4	1×10 ⁵	>99
塗工例 3	10	90	4	2×10 ⁶	>99

耐候性試験条件 : UV 照射 1000hr
 耐湿熱性試験条件 : 85℃ 85%RH 1000hr
 耐摩耗性試験 : 布での乾拭き、水拭き、溶剤拭き

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報に基づいた参考値・代表値となっております。品質を保証するものではありませんので、予めご了解をお願いいたします。また、製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。ご使用の際には SDS (安全データシート) をご参照の上、ご安全にご使用ください。



透明帯電防止コーティング剤

デナトロン CD-100

特長

- 単層カーボンナノチューブ (SW-CNT) を使用
- 耐候性に優れる
- 高透明、低ヘイズな塗膜が得られる
- 水、アルコール等の水溶性溶剤で希釈可能

用途例

- 光学フィルムの帯電防止
- 電子部品包装用フィルムの帯電防止
- 産業資材の帯電防止

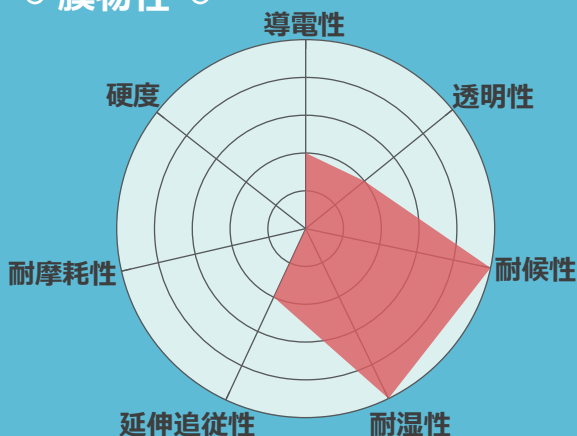
液物性

項目	CD-100
外観	黒色
主な成分	導電材
主な溶剤	水・アルコール
pH	6~8
粘度	1~15 mPa・s
固形分	0.6 wt%
貯蔵安定性 (1~25℃)	6か月以上

塗料化のススメ

項目	推奨の添加剤	注意事項
希釈剤	水、メタノール、エタノール、IPA	添加量によっては、 その他水溶性溶剤も OK
バインダー樹脂	アクリル、ウレタン、水溶性エポキシ、 オレフィン系のエマルジョン、シリケート	添加量が多すぎる場合、 塗膜が高抵抗になる
レベリング剤	シロキサン、フッ素化合物、 ポリエーテル	ハジキを生じる場合に添加
pH	2~10	急激な変化は避ける

膜物性

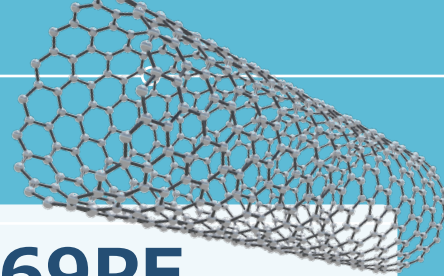


	配合比率 (wt%)			塗布量 (cc/m ²)	表面抵抗率 (Ω/sq.)	全光線透過率 (%)
	CD-100	バインダー 溶液	希釈剤			
塗工例 1	50	1	49	4	2×10 ⁵	97
塗工例 2	20	5	75	4	2×10 ⁶	>99
塗工例 3	4	1	95	4	3×10 ⁷	>99

バインダー溶液 : アクリル樹脂エマルジョン (固形分 20wt%)
希釈剤 : 50% 含水 IPA

耐候性試験条件 : UV 照射 1000hr
耐湿熱性試験条件 : 85℃ 85%RH 1000hr
耐摩耗性試験 : 布での乾拭き、水拭き、溶剤拭き

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報を基にした参考値・代表値となっております。品質を保証するものではありませんので、予めご理解をお願いいたします。また、製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。ご使用の際には SDS (安全データシート) をご参照の上、ご安全にご使用ください。



透明帯電防止コーティング剤 デナトロン C-169PF

○ 特長 ○

- 単層カーボンナノチューブ (SW-CNT) を使用
- 耐候性に優れる
- 耐摩耗性・耐溶剤性に優れる
- 各種基材への密着性が良好

○ 用途例 ○

- 光学フィルムの帯電防止
- 電子部品包装用フィルムの帯電防止
- 産業資材の帯電防止

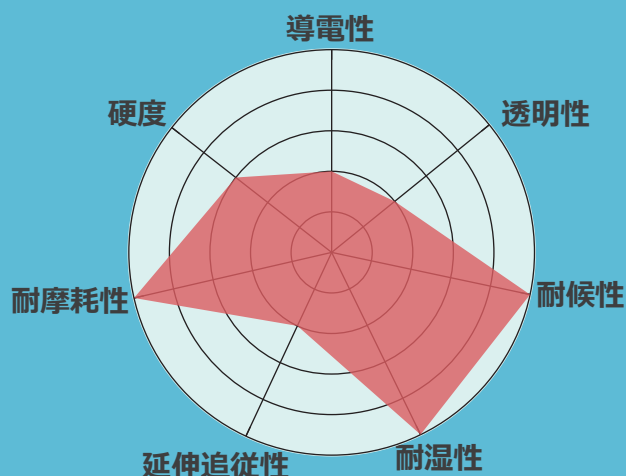
○ 液物性 ○

	C-169PF-A	C-169PF-B
外観	黒色	白濁色
主な成分	導電材	架橋剤
主な溶剤	水・アルコール	水
pH	2~3	7~8
粘度	30~40 mPa・s	3~13 mPa・s
貯蔵安定性 (1~25℃)	6か月以上	6か月以上

混合
➤➤

C-169PF
混合比率 (wt%) A液 : B液 = 3 : 2
pH = 5~7
固形分 4wt%
フロアライフ 1週間 ※50%含水エタノール、5倍希釈時

○ 膜物性 ○



	配合比率 (wt%)			塗布量 (cc/m ²)	表面抵抗率 (Ω/sq.)	全光線透過率 (%)
	A	B	希釈剤			
塗工例 1	30	20	50	10	3×10 ⁵	98
塗工例 2	3	2	95	4	1×10 ⁷	>99
塗工例 3	1.5	1	97.5	5	1×10 ⁹	>99

耐候性試験条件 : UV照射 1000hr
耐湿熱性試験条件 : 85℃ 85%RH 1000hr
耐摩耗性試験 : 布での乾拭き、水拭き、溶剤拭き

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報を基にした参考値・代表値となっております。品質を保証するものではありませんので、予めご了解をお願いいたします。また、製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。ご使用の際には SDS(安全データシート)をご参照の上、ご安全にご使用ください。